ふれあい広場

「ふれあい広場」の各コーナーで紹介する人を募集します。自薦他薦は問いません。日ごろ感じている意見や質問なども募集しています。
あて先＝〒028－0592　遠野市東舘町８番12号
市情報推進課広報広聴係（☎㊷2111内線364）

風の人

「精選五百語標準語引き　遠野ことば」を発刊

遠野ことばは日本のふるさとの言葉

阿部 順吉（じゅんきち） さん（宮守町・72歳）

阿部順吉さんは、昔の遠野郷ことばが標準語から引ける辞典「精選五百語標準語引き　遠野ことば」を北の杜編集工房から発刊しました。四十年以上調査、研究を続ける「遠野ことば」を用例とともに解説しています。

「昭和四十年、九州・博多で開かれた教育研究大会で山形県出身の参加者と大観衆の前で論戦となったとき、わたしたちのなまり言葉を聞いていた人たちが笑い出しました。なぜ、笑われなければならないのかと反骨精神が燃え上がり、それ以来、ふるさと『遠野ことば』の研究を続けています。

わたしは、東北の先人たちが文字のない時代から使っていたであろう言葉を『縄文語』と名付け、その謎に迫りました。『縄文語』には、やさしさ、温かさがあふれています。

東北の言葉は『ズーズー弁』などといわれていますが、決して笑われる言葉ではありません。東北の言葉こそが標準語の原点であるとさえ考えられます。

人は誰でもふるさとを愛しています。生まれ育ったふるさとの言葉に愛着と誇りを持ち、胸を張って使ってください。

遠野郷が永遠の日本のふるさとして輝き続けるためにも、『遠野ことば』もまた、永遠の日本語のふるさと言葉として、守り抜いていかねばなりません。わたしはこれからも、素晴らしい『遠野ことば』を全国に発信していきます」と力強く話していました。

ひとことインタビュー

大きくなったら何になりたい？

平賀 柊（しゅう）くん
（鱒沢小・１年）
ガラスを使ってコップや水槽を作る人になりたいです。物を作るのが好きなので、図工の勉強が大好きです。

菊池 雄太（ゆうた）くん
（鱒沢小・１年）
消防車に乗りたいので消防士になりたいです。家ではおじいちゃんとおばあちゃんの畑仕事の手伝いをします。

菊池 友里亜（ゆりあ）ちゃん
（小友小・１年）
ドーナツ屋さんになりたいです。チョコレートがかかったおいしいドーナツを、みんなに食べさせてあげたいです。

菊池 立展（たつのぶ）くん
（鱒沢小・１年）
火を消して人を助けたいので消防士になりたいです。自転車に乗って遊ぶのが大好きです。

ともに歩んで半世紀 ⑨

松崎町

吉田 敏秋（としあき） さん（78歳）
ナホ さん（74歳）

支えてくれてありがとう
悔いのない人生を送りましょう

―結婚のとき、五十年の思い出は。

（敏秋） 旧国鉄バスに勤務していました。福島から転勤してきたので、知人もなく職場の先輩に勧められるまま見合いしました。

（ナホ） 見合いの席に制服、制帽で現れました。その姿に引かれて、結婚を決めました。

（敏秋） 誰も知らない土地で事故もなく、四十年間勤め上げたことが思い出です。

（ナホ） 主人が六十六歳のとき、肝臓を四分の一摘出する大病を患ってしまいました。もうだめかと思い、生きた心地がしませんでした。

―今の楽しみ、お互いに言いたいことは。

（敏秋） 渓流釣り。毎朝のように釣りに出掛けています。

（ナホ） 三人の孫の成長と六十二歳から始めた書道を楽しんでいます。

（敏秋） 今まで支えてくれてありがとう。感謝しています。

（ナホ） お互いに助け合って、ボケないように悔いのない人生を送りましょう。

青春のトーク ⑨

◆お仕事は…入所者の食事や入浴などのお世話をしています。最近は、７月23日に開催する夏祭りに向け、職員みんなで企画や準備にも励んでいます。
◆趣味は…野球。小学３年生の時から続けています。
◆自己分析すると…明るく能天気。
◆好きな女性のタイプ…優しくて趣味が合う人。
◆夢は…相手が見つかったら、結婚して幸せな家庭を築くことです。
◆最後にひと言…皆さん、ぜひ長寿の郷の夏祭りにお越しください！

仕事と野球に夢中の毎日

菊池　恵一（けいいち）さん
上組町・20歳・A型・遠野長寿の郷

おじゃします サークルクラブ紹介 ①

楽しくサッカーすることがモットー

サッカークラブ『男塾（おとこじゅく）』

昭和五十二年生まれを中心とした同年代の仲間が集まり、平成十一年に結成。現在は十六人で、市内サッカーリーグに参戦しています。昨年のリーグ戦を接戦の末制し、七年間で五度の優勝を数える強豪チームです。

代表の今淵信（まこと）さん（遠野町）は「同年代が集まったチームなので自然に打ち解ける雰囲気の中、自由な戦術でプレーしています。結成当時からはメンバーも入れ替わり、今ではチームへの加入をきっかけにサッカーを始めた人もいます。そういう仲間が上達していくのも楽しみの一つです」と話します。

今年のリーグ戦は、二チームが新たに参戦し六月十二日からスタート。「楽しくサッカーすることが一番のモットーです。年齢を重ねるたびに体力は落ちてきていますが、メンバーみんなの気持ちは年々上向きです」と今淵さん。

メンバー全員、元気があるチームでした。